



奈良県感染症情報

令和 5 年 第 23 週 (6 月 5 日 ~ 6 月 11 日)

奈良県感染症情報センター (奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(5月)
- 麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について
- 5月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RSウイルス感染症	5.15	(4.35)	↑	↗	↑	↓
2	感染性胃腸炎	5.00	(6.94)	↓	↘	→	↘
3	新型コロナウイルス感染症	4.64	(4.51)	※	※	※	※
4	ヘルパンギーナ	4.06	(2.65)	↑↑	↑↑	↑	↑↑
5	A群溶連菌咽頭炎	2.12	(1.50)	↑	↑	↑	↘

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**
 ※新型コロナウイルス感染症の増減は、第 24 週から表示できます

◆ 県内概況 ◆

RSウイルス感染症の報告数は増加を続けており、大流行しています。特に県中部で増加が見られます。引き続き、感染予防を心がけましょう。

一方、感染性胃腸炎の報告数は、第 22 週からやや減少しており、隣接する府県においても減少傾向となっています。

新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数は 4.64 で、第 22 週の 4.51 から大きな変化はありません。

ヘルパンギーナの報告数が、4 週にわたり急増しています。ヘルパンギーナは、治った後もしばらくは、便にウイルスが排出されています。排便後やおむつを交換したあとは、石けんによる手洗いを心がけましょう。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(令和 5 年 5 月) ◆

* ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
インフルエンザ AH3	2				インフルエンザ (2)

◆ 麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について ◆

令和 5 年 6 月 6 日に大阪市内の医療機関より、麻しんの届出があり、当該患者が感染可能期間に大阪市内の施設を利用し、不特定多数の方に接触していることがわかりました。

奈良県は、大阪との往来が多く、今後、県内での感染伝播の可能性が危惧されます。

発疹、発熱などの麻しんのような症状がある場合や、麻しんに感染した疑いがある場合は、かかりつけ医や医療機関に電話等で伝え、受診の要否等を確認してからその指示に従ってください。

麻しんは、感染力が非常に強く、空気感染するので、手洗いやマスクのみでは予防できない感染症です。また、麻しんは、特に妊婦に感染すると流産早産の恐れがあるため、細心の注意が必要です。

予防法は、ワクチン接種が最も有効です。十分な免疫をつけるためには、2回の接種が必要です。2回のワクチン接種歴が明らかでない場合は、接種を検討してください。

麻しん(はしか)の感染事例が報告されています!
 今後、更なる輸入症例や国内における感染伝播事例が増加することが懸念されます。

麻しん(はしか)はどんな病気?
 麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。麻しんウイルスの感染経路は、**空気感染、飛沫感染、接触感染**で、**ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強い**と言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

麻しん、発熱などの麻しんの症状がある場合
 ワクチンを2回接種したことがない方やこれまで麻しんに罹患したことがない方は、感染するリスクがあります。
 麻しんの疑いがあることをかかりつけ医や医療機関に電話等で伝え、受診の要否等を確認してからその指示に従ってください。また**麻しんの感染力は非常に強い**と言われています。医療機関へ移動される際は、**周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。**

麻しん(はしか)はワクチン接種が予防に有効です!

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 23 週 6 月 5 日 ~ 6 月 11 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ/COVID-19定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ	10 (0.18)	1 (0.07)		3 (0.27)	4 (0.40)	2 (0.33)	
新型コロナウイルス感染症	255 (4.64)	66 (4.71)	54 (3.86)	47 (4.27)	64 (6.40)	24 (4.00)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	175 (5.15)	21 (2.33)	20 (2.22)	46 (6.57)	87 (14.50)	1 (0.33)	
咽頭結膜熱	28 (0.82)	1 (0.11)	6 (0.67)	12 (1.71)	8 (1.33)	1 (0.33)	
A群溶連菌咽頭炎	72 (2.12)	18 (2.00)	20 (2.22)	5 (0.71)	28 (4.67)	1 (0.33)	
感染性胃腸炎	170 (5.00)	33 (3.67)	33 (3.67)	30 (4.29)	71 (11.83)	3 (1.00)	
水痘	3 (0.09)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)			
手足口病	16 (0.47)	2 (0.22)	7 (0.78)	2 (0.29)	5 (0.83)		
伝染性紅斑							
突発性発しん	14 (0.41)	1 (0.11)	2 (0.22)	5 (0.71)	5 (0.83)	1 (0.33)	
ヘルパンギーナ	138 (4.06)	50 (5.56)	17 (1.89)	13 (1.86)	54 (9.00)	4 (1.33)	
流行性耳下腺炎	2 (0.06)			1 (0.14)	1 (0.17)		
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核1件(中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(奈良市1、中和1)
4類感染症	
5類感染症	梅毒1件(中和1)

❖ 第23週のトピックス ❖

麻疹について(6月13日更新)(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekak_u-kansenshou/measles/index.html

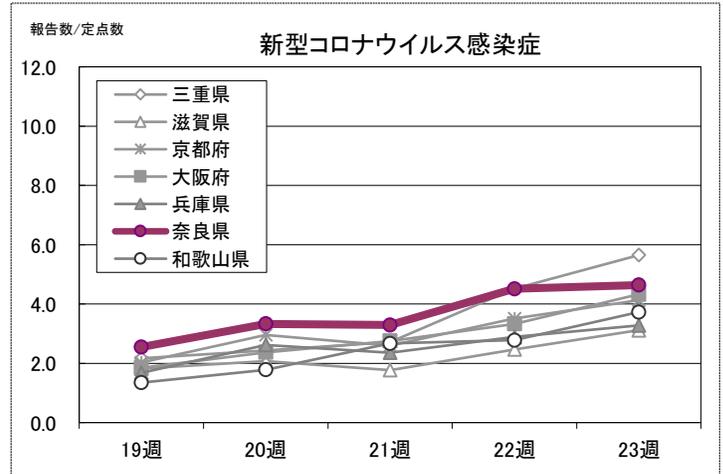
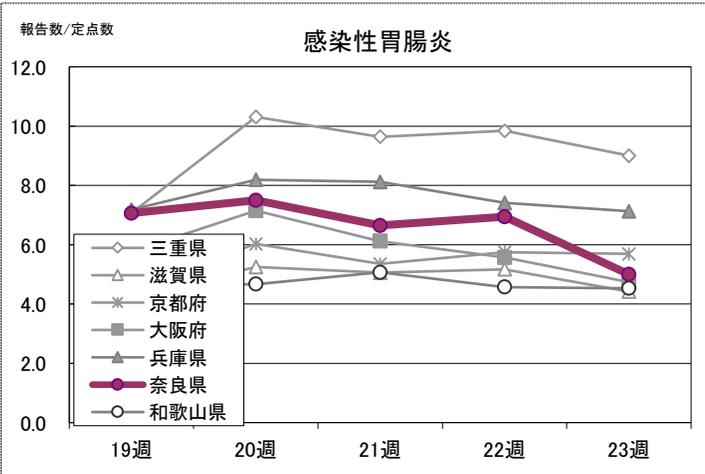
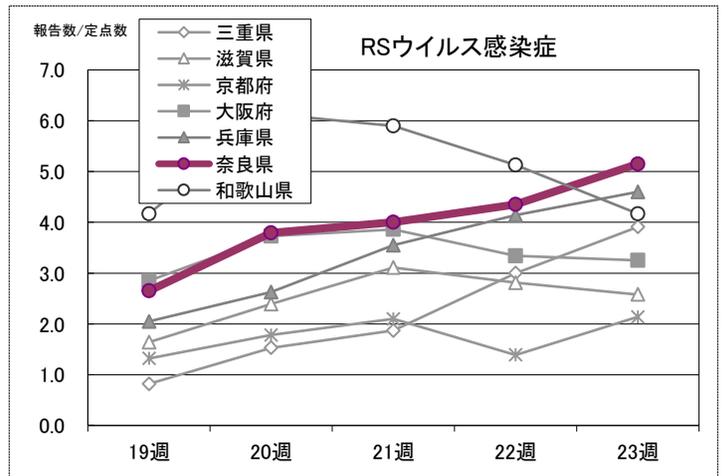
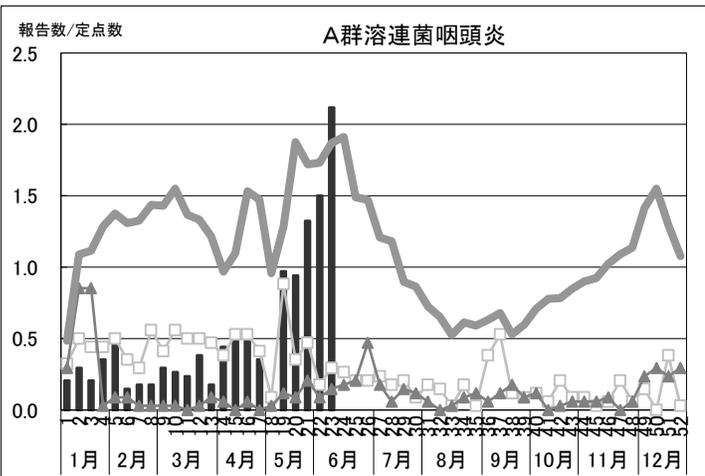
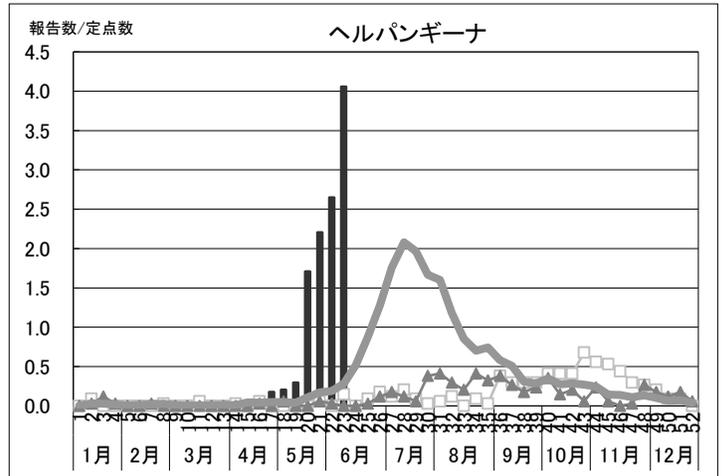
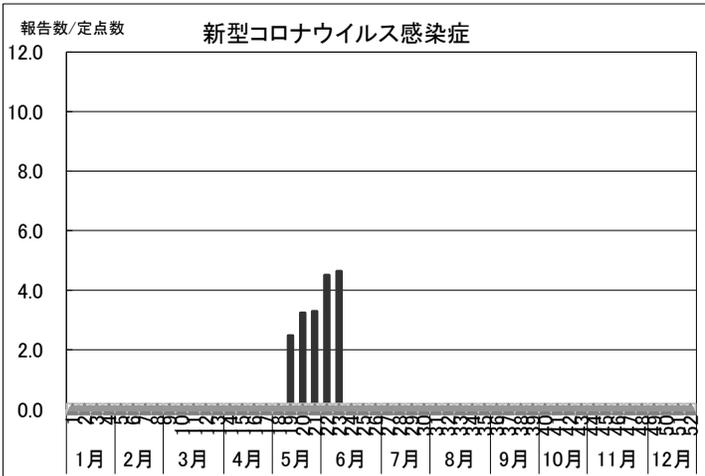
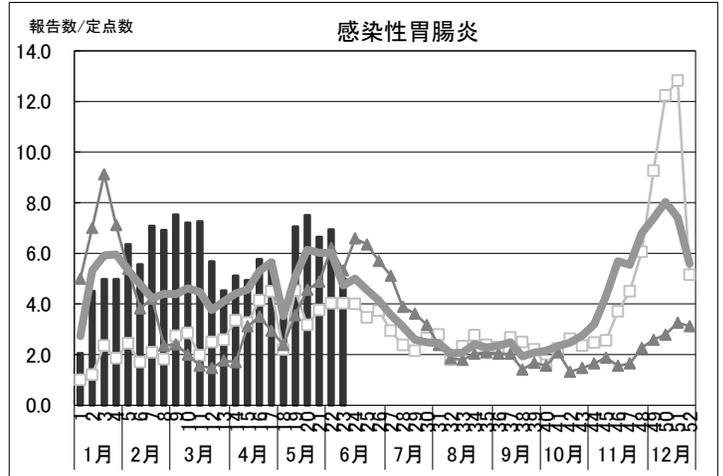
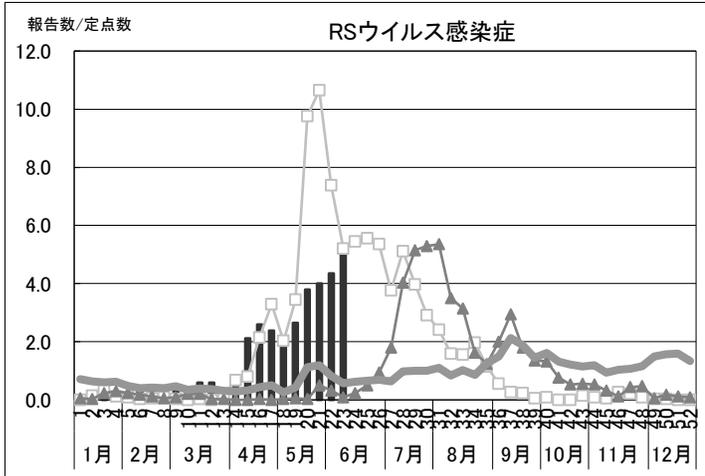
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男				1							1		1					1			5	4319
	女														2	1						5	3710
新型コロナウイルス感染症	男	1	2	3	3	2	2		1	2		2	9	7	10	8	22	20	12	12	5	123	431
	女	4	1	1	1	2	2		1	2	1	1	9	13	16	17	24	20	9	5	4	132	567
RSウイルス感染症	男	6	16	21	27	11	10	7	1													99	633
	女	10	7	19	19	8	5	5	3													76	503
咽頭結膜熱	男			7	1	2	2	1	1	1												15	107
	女			7	1	1	2	2														13	86
A群溶連菌咽頭炎	男			2	1	4	7	4	8	5	1	2	4	2	1							41	255
	女			2	7	6	3	5	4	2	1	1		1								31	161
感染性胃腸炎	男		3	17	13	17	2	10	12	3	6	7			1							91	2482
	女		4	10	8	5	10	9	14	3	2	1	6		7							79	2034
水痘	男		1							1	1											3	21
	女																						14
手足口病	男			2	2	3		1														8	96
	女			2	2	3				1												8	79
伝染性紅斑	男																						4
	女																						4
突発性発しん	男		1	3	1	2	1															8	113
	女		3	2	1																	6	89
ヘルパンギーナ	男		2	26	16	10	12	9	3	1	1		1									80	216
	女		3	9	16	14	7	4	2	1	1	1										58	184
流行性耳下腺炎	男						1															1	8
	女									1												1	10
急性出血性結膜炎	男																						3
	女																						31
流行性角結膜炎	男								1													1	43
	女																						
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						1
	女																						
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						1

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 5 月

	奈良県					年齢	上段：報告数 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数													累計は、2023年1月からの累計						
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計		
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0																				
性器クラミジア感染症	22 (2.00)	3 (1.00)	11 (3.67)		8 (2.67)	...	男						1	1	4	1	1	1	1					10	38	
						...	女					2	3	3	1	1	1	1	1					12	54	
性器ヘルペス	1 (0.09)			1 (0.50)		...	男																			
						...	女															1	1	7		
尖圭コンジローマ	3 (0.27)		3 (1.00)			...	男					1				2							3	5		
						...	女																8	8		
淋菌感染症	8 (0.73)		7 (2.33)		1 (0.33)	...	男						1		2	1	1						5	26		
						...	女					1	1					1					3	6		
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	23 (3.83)	2 (2.00)	9 (4.50)	5 (5.00)	7 (7.00)		男										1	1	1		1	2	13	19	98	
							女										1		1				2	4	41	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3 (0.50)	1 (1.00)	2 (1.00)				男																1	1	7	
							女			1													1	2	2	2
薬剤耐性緑膿菌感染症							男																			
							女																			

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

